

1. 総則

環境保全の基本理念 (第 3 条 ~ 第 5 条)

現在及び将来の世代の人間が環境の恵沢を教授し、将来に継承
全ての者の公平な役割分担の下、環境への負担の少ない持続的発展が可能な社会の構築
国際的協調による積極的な地球環境保全の推進

各主体の責務 (第 6 条 ~ 第 9 条)

国 地方公共団体 事業者 国民

2. 環境の保全に関する基本的施策

施策策定の指針 (第 14 条)

環境の自然的構成要素が良好に維持
生物多様性の確保等
人と自然との豊かなふれあいの確保

環境基本計画の策定 (第 15 条)

国の具体的施策

- ・ 大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音に係る環境基準 (第 16 条)
- ・ 公害防止計画及びその達成の推進 (第 17、18 条)
- ・ 環境配慮 - 国の施策の策定 (第 19 条)
- 環境影響評価の推進 (第 20 条)
- ・ 規制 (第 21 条)
- ・ 経済的措置 - 経済的助成、経済的負担による誘導 (第 22 条)
- ・ 環境への負荷低減に資する製品等の利用 (第 23 条)
- ・ 環境の保全に関する教育・学習 (第 25 条)
- ・ 民間団体等の自発的な活動の促進 (第 26 条)
- ・ 施策の策定に必要な調査の実施、監視等の体制の整備 (第 28、29 条)
- ・ 科学技術の振興 (第 30 条)
- ・ 公害による紛争の処理 (第 31 条)
- ・ 地球環境保全等に関する国際協力 (第 32 ~ 35 条)

地方公共団体の施策 (第 36 条)

費用負担等 (第 37 ~ 40 条)

原因者負担 / 受益者負担 / 国と地方の関係 (第 37 ~ 40 条)

3. 環境の保全のための組織

中央環境審議会の設置 (第 41 条)
都道府県、市町村の合議制の機関 (第 43、44 条)
公害対策会議の設置 (第 45、46 条)

環境基本計画〈環境の世紀への道しるべ〉の構成

第1部 環境の現状と環境政策の課題

第2部 21世紀初頭における環境政策の展開の方向

目指すべき社会 = **持続可能な社会**

長期的目標

【循環】

【共生】

【参加】

【国際的
取組】

環境政策の基本的考え方

社会の諸側面を踏まえた環境政策（統合的アプローチ）

生態系の価値を踏まえた環境政策

環境政策の指針となる四つの考え方（汚染者負担の原則、環境効率性、予防的な方策、環境リスク）

環境上の「負の遺産」の解消

基本的な考え方を具体化するための政策の方針

あらゆる場面における環境配慮の織り込み

あらゆる政策手段の活用と適切な組み合わせ

あらゆる主体の参加

地域段階から国際段階まであらゆる段階における取組

第3部 各種環境保全施策の具体的な展開

戦略的プログラムの展開

環境問題の各分野に関するもの

- ・地球温暖化対策
- ・物質循環の確保と循環型社会の形成
- ・環境への負荷の少ない交通
- ・環境保全上健全な水循環の確保
- ・化学物質対策
- ・生物多様性の保全

政策手段に係るもの

- ・社会経済の環境配慮のための仕組みの構築
- ・環境投資

あらゆる段階における取組に係るもの

- ・地域づくりにおける取組
- ・国際的寄与・参加の促進

環境保全施策の体系

第4部 計画の効果的実施

推進体制の強化

政府への環境管理システムの導入の検討
各省庁における環境配慮方針の策定

計画の進捗状況の点検

各省庁による自主的な点検の実施
これを踏まえた中央環境審議会の点検、政府への報告
政府からの点検結果の国会への報告（環境白書）、環境保全経費への反映

循環型社会形成推進基本計画の概要

現状と課題

現状：非持続的な 20 世紀型の活動様式

- 課題
- ・循環を基調とする社会経済システムの実現
 - ・廃棄物問題の解決

循環型社会のイメージ

暮らし：良いものを大事に使う「スロー」なライフスタイル

ものづくり：長寿命化、リース・レンタル

数値目標：2000～2010 年度

1 物質フロー（マテリアル・フロー）目標

「入口」：資源生産性 平成 22 年度：約 39 万円/トン（平成 12 年度から概ね 4 割向上）

* 資源生産性 = GDP / 天然資源等投入量：いかにより少ない資源で、より大きな豊かさを得るかを表す値

「循環」：循環利用率 平成 22 年度：約 14%（平成 12 年度から概ね 4 割向上）

「出口」：最終処分量 平成 22 年度：約 28 百万トン（平成 12 年度から概ね半減）

2 取組目標

- ・1 人 1 日あたりごみ排出量の 20% 削減、
- ・循環型社会ビジネスの市場・雇用規模の倍増等

各主体の取組

国：各主体とのパートナーシップの育成、率先した循環型社会形成への取組

国民：ライフスタイルの見直し等

事業者：EPR に基づく適正な 3R・処分等

NPO・NGO：循環型社会形成への活動等

地方公共団体：法施行・コーディネーター

新・生物多様性国家戦略 (全体構成)

前文	【経緯・計画の役割】 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">見直しの経緯</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">前回戦略のレビュー</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">新戦略の性格・役割</div> </div>	
第1部 生物多様性の現状	【問題意識】生物多様性の3つの危機 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">第1の危機 人間活動に伴うインパクト</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">第2の危機 人間活動の縮小に伴うインパクト</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">第3の危機 移入種等によるインパクト</div>	【現状分析】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 社会経済状況 社会経済動向 国民意識の変化 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 生物多様性の現状 世界・日本の概況 種・生態系の現状 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 保護制度の現状 国土利用計画体系 環境省の保護施策 </div>
第2部 理念と目標	【理念と目標】 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 5px;"> 人間生存の基盤 世代を超えた安全性、効率性の基礎 有用性の源泉 豊かな文化の根源 予防的順応的態度 (エコシステムアプローチ) </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 3つの目標 種・生態系の保全 絶滅の防止と回復 持続可能な利用 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 生物多様性のランドデザイン ・国土のマクロな認識 ・国土のあるべきイメージ </div> </div>	
第3部 生物多様性保全及び 持続可能な利用	【対応の基本方針】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 3つの方向 保全の強化 自然再生 持続可能な利用 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 基本的視点 科学的認識 統合的アプローチ 知識の共有・参加 連携・共同 国際的認識 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 生物多様性からみた国土の捉え方 国土の構造的把握 植生自然別の配慮事項 </div>	【個別方針】 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> 重要地域の保全と生態 的ネットワーク形成 里地里山の保全と持続 可能な利用 湿原・干潟等湿地の保全 自然の再生・修復 野生生物の保護管理 ・種の絶滅の回避 ・移入種問題への対応 自然環境データの整備 効果的な保全手法等 ・環境アセスメントの充実 ・国際的取組 </div>
第4部 具体的施策の展開	【個別施策・各省施策】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 国土の空間的特性・土地利用に 応じた施策 森林・林業 農地・農業 都市・公園緑地・道路 河川・砂防・海岸 港湾・海洋 漁業 自然環境保全地域・自然公園 名勝・天然記念物 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 横断的施策 野生生物の保護管理 生物資源の持続可能な利用 自然とのふれあい 動物愛護・管理 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 基盤的施策 調査研究・情報整備 教育・学習・普及啓発・人材育成 経済的措置等 国際的取組 </div>	
第5部 戦略の効果的実施	【まとめ】 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> 実行体制と各主体の連携 各種計画との連携 国家戦略実施状況の点検と国家戦略の見直し </div>	